

KENWOOD

U575SD U575

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

- 6 はじめに
 - 6 安全上のご注意
 - 8 時計を調整しよう
 - 9 本書の読みかた
 - 10 本機でできること
 - 12 ご使用の前に

14 まずはここから覚えてください

- 14 各部の名称とはたらき
- 16 共通の操作を覚えよう
 - 16 電源を入れてみよう
 - 16 音源を切り替えよう
 - 16 音量を調整しよう
 - 17 設定項目を選択しよう
- 18 お好みの音源を聴いてみよう
 - 18 ディスクを聴くには
 - 18 ラジオを聴くには
 - 19 USB機器を聴くには
 - 20 iPodを聴くには
 - 20 SDカードを聴くには (U575SDのみ)
 - 21 外部機器を聴くには

22 ディスクやオーディオファイルを聴く

- 22 本機で使えるメディアとオーディオファイル
 - 23 SDカード/USB機器を聴くときは
- 24 ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示
- 24 ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン
- 25 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 25 リピート・スキャン・ランダム再生をする
 - 26 聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)
 - 27 すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

28 iPodを聴く

- 28 iPodについて
- 29 iPod再生中の画面表示
- 29 iPod再生中に使うボタン
- 30 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 30 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える
 - 30 リピート・ランダム再生をする
 - 31 リストから曲を探す
 - 31 サーチモードで聴きたい曲を探す
 - 32 ジャンルと文字を選択して曲を探す（ダイレクトサーチ）
 - 32 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）
 - 33 関連する曲を探す（リレーテッドサーチ）
 - 33 すばやくスクロールして曲を探す（スキップサーチ）

34 ラジオを聴く

- 34 ラジオ受信中の画面表示
- 34 交通情報を聴く
- 35 ラジオを聴く
 - 35 聴きたい放送局を自動で探す
 - 35 放送局を手動登録する
 - 36 放送局を自動登録する（オートメモリー）
 - 36 登録した放送局を呼び出す

37 以前に使った項目をワンタッチで呼び出す（Log Function）

- 37 Log Function項目を利用する
 - 37 登録された項目を呼び出す
 - 38 Log Function項目をロックする
 - 38 Log Function項目を削除する
 - 39 Log Functionカテゴリを設定する
 - 39 チューナー Log時間の変更

40 本機の設定をする

- 40 **ディスプレイの表示を設定しよう**
- 40 ディスプレイの表示タイプを切り替える（ディスプレイコントロール）
- 44 ディスプレイの詳細を設定する
- 46 イルミネーション色を設定する（U575SDのみ）
- 47 **日付と時計表示を設定しよう**
- 47 日付を調整する
- 47 時計を表示する2か所の都市を設定する
- 48 **お好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）**
- 51 **音源ごとに設定を変更しよう**
- 52 **初期設定を変更しよう**

54 こんなときは

- 54 **本機を盗難から守るために**
- 55 **困ったときに**
- 55 異常にお気づきのときは
- 55 故障かな?と思ったら
- 56 こんなメッセージが表示されたら…
- 58 **本機を取り付けるときは**
- 58 必ずお読みください
- 60 配線をしましょう
- 62 取り付けましょう
- 63 **仕様**
- 64 **保証とアフターサービス（必ずお読みください）**
- 65 ケンウッド 全国サービス網
- 66 **用語集**
- 66 **商標について**

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
 - ・カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



警告



実施

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。




実施

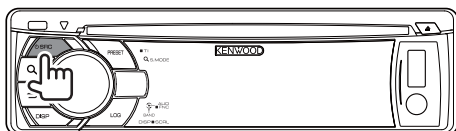
- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

時計を調整しよう


本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。

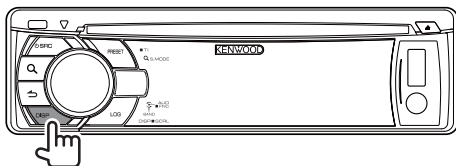
1

 を押す
電源がオンになります。




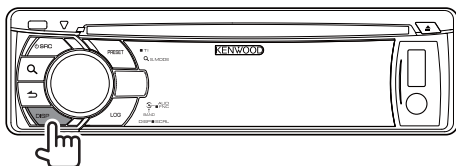
2

 を押して時計を
表示させる



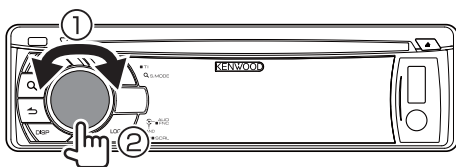
3

 を押し続ける
時計表示が点滅します。




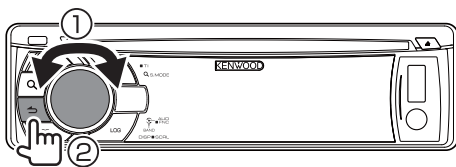
4

① ボリュームノブを回して
「時」を調整し、
② ボリュームノブを押す
※時計は 12 時間制で表示されます。



5

① ボリュームノブを回して
「分」を調整し、
②  を押す
※時計調整が完了します。



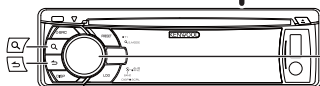
本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ
以下のように操作します。
[Play Mode]を選択する
→ボリュームノブを回して項目を選択する。

関連する機能・操作を紹介しています。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

1 ボリュームノブを1秒以上押す

2 [Play Mode]を選択し、ボリュームノブを押す
3 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す
ボリュームノブを押すと、ON/OFFが切り替わります。

設定項目	機能
Folder Random	選択したリストの曲をランダムな順番で再生します。
All Random	iPodの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

4 []を1秒以上押しして終了する

♪こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- All Random機能をONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- All Random機能がONのときに、リストから曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。

操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

章の内容を表しています。

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

MEMO

- 本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本機でできること

U575SD/ U575でできることをご紹介します。
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

ディスクを聴く

- CDはもちろん、MP3、WMA、AACの入ったCD-R/CD-RW/CD-ROMも聴ける！ (P.22)

※本書では、MP3、WMA、AACをまとめて「オーディオファイル」と表記しています。



iPodを聴く

- iPod、iPhoneの音楽を聴ける！ (P.28)
- たくさんの曲から、聴きたい曲をすぐに見つける！ (P.31)

※別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102が必要です。



USB機器をつなぐ

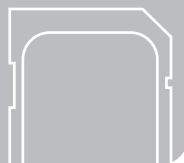
- お手持ちのUSB機器に入っている音楽を聴ける！ (P.19)
- 大量の曲も簡単に管理できる！ (P.26)

※別売品のUSBケーブル（推奨品「CA-U1EX」）が必要です。



SDカードを聴く (U575SDのみ)

- SDカードに入っている音楽を聴ける！ (P.20)
- 大量の曲も簡単に管理できる！ (P.26)



ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！ (P.21)

※市販品のミニプラグケーブル (3.5φ) が必要です。



ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！ (P.35)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！ (P.36)



ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

使用できる別売品のリモコンについて

別売品のリモコンについては、カタログをご覧ください。になるか、購入店にお問い合わせください。

なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外の音源に切り替えてください。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

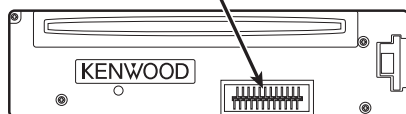
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

パネルと本機の端子について

操作パネルと本体間のコネクタ端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネル側のコネクタ端子を柔らかな布で軽く拭いてください。

コネクタ端子



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタン (P.55) を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

お気をつけください

- USB機器、iPod、SDカードを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPod、SDカードが変形や故障する場合があります。
- 以下のディスクは使用しないでください。

特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。



記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。



マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。

ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

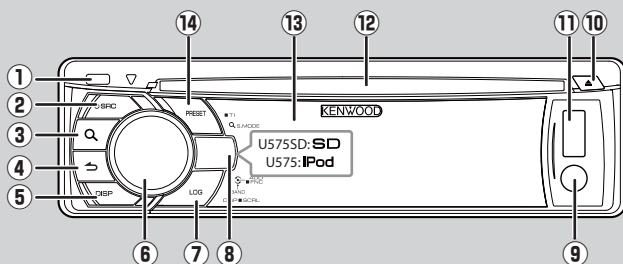
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。

- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。





- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

- 8cmCDは使用できません。8cmCDを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。






各部の名称とはたらき



■各ボタンの機能

番号	ボタン名称	機能
①	リリースボタン	押すと、操作パネルが取り外せます。(P.54)
②	ソースボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンにします。1秒以上押すと、本機の電源をオフにします。(P.16) ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.16)
③	サーチボタン 	CDやiPod、オーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.26)
④	リターンボタン 	<ul style="list-style-type: none"> CDやiPod、オーディオファイル再生時に、一時停止／再生します。 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。(P.17) オーディオファイル選択時は、一つ上のフォルダに戻ります。 1秒以上押すと、設定モードやオーディオコントロールモードまたはミュージックサーチモードを解除します。
⑤	ディスプレイボタン 	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの表示タイプを切り替えます。(P.40) 1秒以上押すと、再生中の曲タイトルなどをスクロールさせます。 時計表示中に1秒以上押すと、時計調整モードに切り替わります。(P.8)

各部の名称とはたらき

番号	ボタン名称	機能
⑥	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> 左右に回して、音量を調節します。(P.16) ラジオ受信時に、下に押してバンドを選択します。また、左右に押して、ラジオの周波数を切り替えます。(P.35) オーディオファイルの再生中に上下に押して、フォルダを選択します。 CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを決定します。(P.26) 左に1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、1つ前の曲を再生します。 右に押すと、1つ後の曲を再生します。 左右に押し続けると、早戻し/早送りします。 1秒以上押すと、各機能の設定モードに切り替えます。(P.17) 設定操作時に、左右に回して項目を選択し、押すと選択した項目の設定を決定します。(P.17)
⑦	ログボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 自動的に記憶された項目がリスト表示されます (P.37) 音源がiPodのときに、1秒以上押すとAPP & iPod Modeが切り替わります。(U575SDのみ) (P.30)
⑧	SDボタン (U575SD) 	<ul style="list-style-type: none"> 音源がSDカードに切り替わります。(P.16) 音源がSDカードのときに押すとプレイモードの選択ができます。(P.25)
⑧	iPodボタン (U575) 	<ul style="list-style-type: none"> 音源がiPodに切り替わります。(P.16) 音源がiPodのときに、1秒以上押すとAPP & iPod Modeが切り替わります。(P.30)
⑨	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.21)
⑩	イジェクトボタン 	ディスクを取り出します。
⑪	USB端子	USB機器/ iPodを接続します。(P.19) (P.20)
⑫	ディスク挿入口	ディスクの差込口です。(P.18)
⑬	ディスプレイ	時計や再生中の曲タイトルなど、本機の動作内容を表示します。
⑭	プリセットボタン 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオのプリセットリストを表示します。 1秒以上押すと、交通情報を受信します。(P.34)


共通の操作を覚えよう

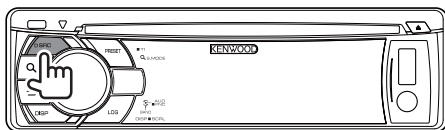
電源を入れてみよう

まずは、本機の電源を入れてみましょう。

1 を押す


本機の電源がオンになります。


 を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

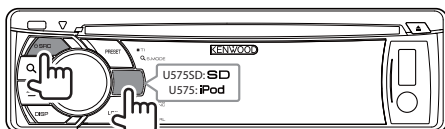


音源を切り替えよう

1 を聴きたい音源が表示されるまで数回押す

 を押すとすぐに音源をSDカードにできます。(U575SDのみ)

 を押すとすぐに音源をiPodにできます。(U575のみ)




MEMO

- ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

 STANDBY	: 何も再生していない状態
 TUNER	: ラジオ
 USB	: USB機器
 iPod	: iPod、iPhone (iPodまたはiPhone接続時)
 SD	: SDカード (U575SDのみ)
 CD	: ディスク
 AUX	: 外部機器

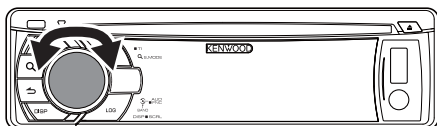
MEMO

- “SRC Select” (P.52) が“2”に設定されているときは、 を押したあとにボリュームノブを回して音源を表示させ、ボリュームノブを押して音源を切り替えます。

音量を調整しよう

1 ボリュームノブを回す

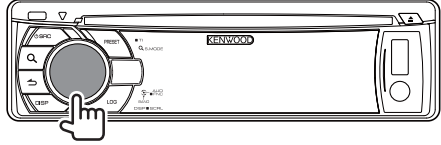
右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。



設定項目を選択しよう

音源ごとの設定項目など選択するとき下記の方法で行います。

- 1** ボリュームノブを1秒以上押す

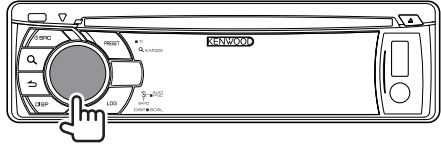


- 2** ボリュームノブを回して、表示を切り替える




- 3** ボリュームノブを押して、表示された項目を決定する

この操作を繰り返します。



MEMO

- 1つ前の項目に戻るときは、 を押します。

お好みの音源を聴いてみよう

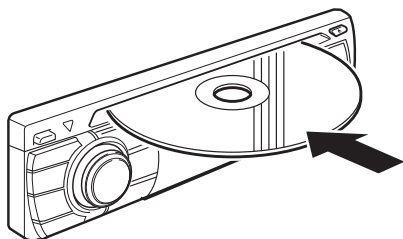
本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ディスクを聴くには

ディスクを挿入する

- 1 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。



ディスクを取り出す


- 1  を押す



MEMO

- 8cmディスクは使用できません。

• こんなときは… •

- 再生機能を変えたい → P.25
- すでに本機に入っているディスクを再生したい
→  をディスプレイに **[CD]** と表示されるまで押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.22

ラジオを聴くには

- 1  を **[TUNER]** と表示されるまで押す

ラジオが受信されます。



• こんなときは… •

- バンドを変えたい → ボリュームノブを下に押す。(P.35)
- 聴きたい放送局を探す → P.35

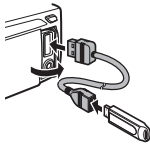
USB機器を聴くには

別売品のUSBケーブル(推奨品「CA-U1EX」)が必要です。


USB機器を接続する

- 1 USB端子のカバーを横に開く
- 2 USB機器が接続されたUSBケーブルを、奥まで確実にUSB端子に差し込む


USB機器内のオーディオファイルが再生されます。

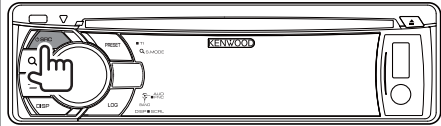


● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.25
- すでに接続されているUSB機器を再生したい
→  をディスプレイに「USB」と表示されるまで押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.22

USB機器を取り外す

- 1  を押して音源表示を **USB** 以外にする



- 2 USB機器を取り外す

MEMO

- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。(本機の電源オン時のみ)



iPodを聴くには

iPodを接続する


- 1 USB端子のカバーを横に開く
- 2 お手持ちのiPodをiPod接続ケーブル KCA-iP102 (別売品) を使用して、奥まで確実にUSB端子に差し込む

iPod内のオーディオファイルが再生されます。(最大供給電流: 1 A)

● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.30
- ・すでに接続されているiPodを再生したい
→  をディスプレイに **iPod** と表示されるまで押す。
U575の場合は  を押すと、ワンタッチで切り替わられます。
- ・iPod内の曲を選びたい
→ P.31

iPodを取り外す

- 1  を押して音源表示を **iPod** 以外にする



- 2 iPodを取り外す

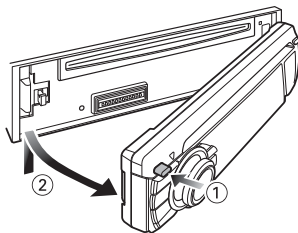
MEMO

- ・この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- ・iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)

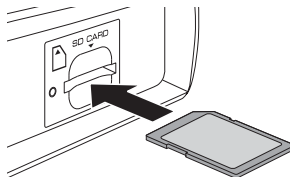
SDカードを聴くには (U575SDのみ)

SDカードを挿入する

- 1 リリースボタンを押して操作パネルを取り外す

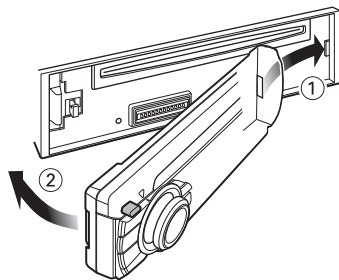


- 2 SDカードをSDカードスロットに挿入する



SDカードはラベルを上、切り込みを右にしてクリックするまで挿入します。

- 3 操作パネルを取り付ける



4 **SD**を押す

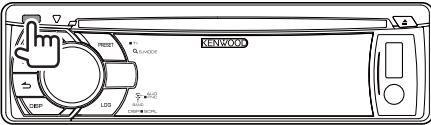
SDカード内のオーディオファイルが再生されます。

● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.25
- ・すでに挿入しているSDカードを再生したい
→ **SD**を押す。
- ・再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.22

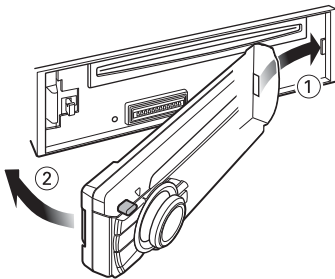
SDカードを取り外す

- 1 リリースボタンを押して操作パネルを取り外す



- 2 SDカードをクリックするまで押す
SDカードが出てきたら取り出します。

- 3 操作パネルを取り付ける

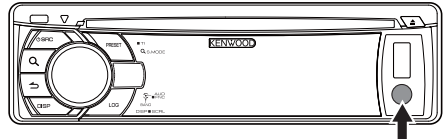


外部機器を聴くには

- 1 AUX端子に市販のミニプラグケーブル (3.5φ) を差し込む

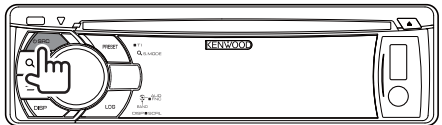
MEMO

- ・接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 **SRC** を **AUX** と表示されるまで押す



- 4 外部機器を再生する
外部機器が本機から再生されます。

● こんなときは… ●

- ・すでに接続されている外部機器を聴きたい
→ **SRC** をディスプレイに **AUX** と表示されるまで押す。

まずはここから覚えてください

ディスクやオーディオファイルを聴く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Romeo、Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
SDカード (U575SDのみ)	SDカード (2GB以下)、SDHCカード (32GB以下)
USB機器	USBマストレージクラス
SDカード/USB機器ファイルフォーマット	FAT16、FAT32

(2011年11月現在)

MEMO

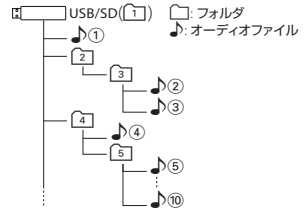
- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行ってください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofile/で公開しています。
- miniSDカード、miniSDHCカード、microSDカード、またはmicroSDHCカードを使用するときは変換アダプターが必要です。
- マルチメディアカード (MMC) は使用できません。
- SD-Audioフォーマットのオーディオファイルは再生できません。

SDカード/USB機器を聴くときは

以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

オーディオファイルの再生順序

右図の例では、①から⑩の順で再生されます。思ったおりの順番で再生されない場合は、KENWOOD Music Editor Light ver 1.1（下記）を使用してデータベースを作成することをお薦めします。



KENWOOD Music Editorについて

本機は、“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”以降に対応しています。

KENWOOD Music Editorとは、SDカード/USB機器に入っている曲の選択操作を便利にするためのPCアプリケーションです。

KENWOOD Music Editorを使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。

“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”は、www2.jvckenwood.com/faq/からダウンロードできます。

アプリケーションの詳しい情報は、サイトまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示について説明します。





MEMO

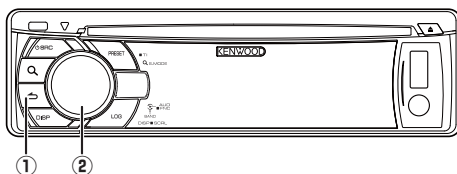
- ディスプレイの表示を曲名、時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール)」(P.40) をご覧ください。

ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する→①  を押す
- 一時停止から再生する→①  を押す
- 早送りする→② ボリュームノブを右に押し続ける
- 早戻しする→② ボリュームノブを左に押し続ける
- 曲の先頭に戻る→② ボリュームノブを左に押す
- 次の曲を聴く→② ボリュームノブを右に押す
- 次のフォルダに進む→② ボリュームノブを上を押す
- 前の曲を聴く→② ボリュームノブを左に2回押す
- 前のフォルダに戻る→② ボリュームノブを下を押す

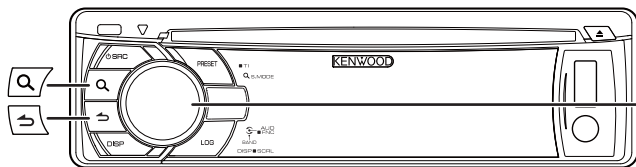


MEMO

- オーディオファイルでは、早送り／早戻し中には音声が出ません。



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ
以下のように操作します。

Play Modeを選択する
→ボリュームノブを回して項目を選択する。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。また、スキャン再生を行うと、ディスク・フォルダ内の各曲を先頭から10秒間ずつ再生します。聴きたい曲を探すときに便利です。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Play Mode** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 設定項目を選択しボリュームノブを押す
ボリュームノブを押すと、ON/OFFが切り替わります。

CDの場合

設定項目	機能
Track Scan	各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Disc Random	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

オーディオファイルの場合

設定項目	機能
File Scan	フォルダ内の各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Folder Random	フォルダ内の曲をランダムな順番で再生します。
All Random	すべての曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。
Folder Repeat	再生中のフォルダの曲を繰り返し再生します。

MEMO

- KENWOOD Music Editor (P.23) を使用して作成したデータでは、Folder Repeatはできません。

- 4 を1秒以上押して終了する


MEMO

- Track Scan、File Scanですべての曲がスキャン再生されると、自動的に終了します。
- U575SDでは、音源がSDカードのときを を押すと、ワンタッチでプレイモードの選択状態になります。続けて手順3から操作してください。

▶次ページへつづく


ディスクやオーディオファイルを聴く

♪ こんなときは…

- スキャン再生を中止する
→  を押すか、手順1から4を繰り返して設定をOFFにする。
- ランダム再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)


曲をリスト表示にして探します。

1  を押す

2 以下の操作で聴きたい曲を選択する

オーディオファイルの場合

再生中のフォルダが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回す
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押す
1つ上の階層に戻る	 を押す
ルートフォルダ（最上階層）に戻る	ボリュームノブを1秒以上左に押す

CDの場合

トラックがリスト表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。


動作	操作
トラック表示切り替え	ボリュームノブを回す
トラック再生	トラック表示を切り替え、ボリュームノブを押す

📖 MEMO

- KENWOOD Music Editor(P.23)を使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。
- ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最初に「♪」が表示されます。
- フォルダ名が表示されているときは、フォルダ名の最初に「■」が表示されます。




♪ こんなときは…

- ・ ミュージックサーチを中止する
→  を1秒以上押す。

すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。KENWOOD Music Editorで作成したメディアのみで使用できる機能です。

- 1  を2回押す
- 2 **Skip Search** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 聴きたい曲を探す

以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回す
スキップサーチ	ボリュームノブを上下に押す
表示フォルダの選択または表示ファイルの決定	ボリュームノブを押す
スキップサーチの割合を変える	ボリュームノブを左右に押す

📖 MEMO

- ・ 1秒以上ボリュームノブを上下に押すと、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- ・ スキップの割合は、「音源ごとに設定を変更しよう」(P.51)でも設定できます。

- 4 ボリュームノブを押す
サーチモードが解除され、決定している曲の再生が始まります。

iPodを聴く

iPodについて

別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続します。音源選択の **[USB]** 表示は iPod 認識後に **[iPod]** となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

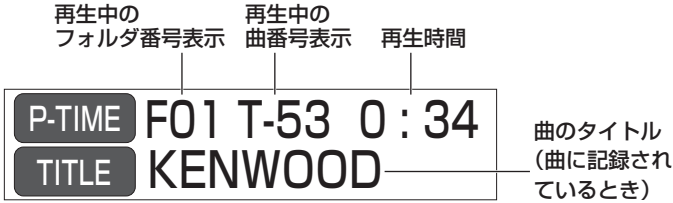
MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。
- iPodのソフトウェアに関する適合情報はwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。



iPod再生中の画面表示

iPod再生中の画面表示について説明します。





MEMO

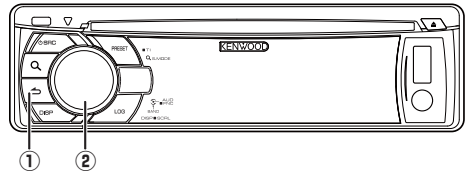
- ディスプレイの表示をリスト番号や再生時間、時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール)」(P.40)をご覧ください。

iPod再生中に使うボタン

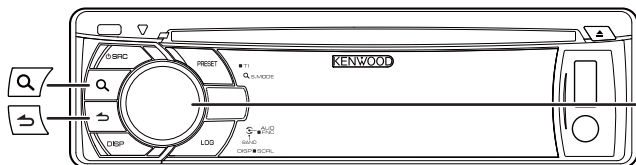
再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する→①  を押す
- 一時停止から再生する→①  を押す
- 早送りする→②ボリュームノブを右に押し続ける
- 早戻しする→②ボリュームノブを左に押し続ける
- 曲の先頭に戻る→②ボリュームノブを左に押す
- 次の曲を聴く→②ボリュームノブを右に押す
- 前の曲を聴く→②ボリュームノブを左に2回押す



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

Play Modeを選択する

→ボリュームノブを回して項目を選択する。

iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード（APP & iPod ModeがOFFの状態）と、iPodから操作できるモード（APP & iPod ModeがONの状態）のいずれかで操作します。

モードを切り替えるには以下の手順を行います。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Play Mode** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **APP & iPod Mode** を選択し、ボリュームノブを押して、ON/OFFを切り替える
- 4 **⏏** を1秒以上押して終了する

MEMO

- iPod音源中に、U575では**iPod**を1秒押すか、U575SDでは**LOG**を1秒押すと、APP & iPod ModeのON/OFFを切り替えられます。
- 接続したiPodがAPP & iPod Modeに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定項目が表示されません。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。

- APP & iPod ModeをONに設定しているときに本機から可能な操作は、一時停止、早送り／早戻し、前の曲・次の曲の選択です。
- APP & iPod ModeをONに設定している間は、本機のディスプレイに“APP & iPod Mode”と表示されます。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Play Mode** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す
ボリュームノブを押すと、ON/OFFが切り替わります。

設定項目	機能
Folder Random	選択したリストの曲をランダムな順番で再生します。
All Random	iPodの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

- 4 **⏏** を1秒以上押して終了する

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

📖 MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- All Random機能をONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- All Random機能がONのときに、リストから曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。

リストから曲を探す

リストから聴きたい曲を探します。(ミュージックサーチ)

1 [Q]を押す

2 以下の操作で聴きたい項目を選択する

曲名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	ボリュームノブを回す
リスト選択または選択した曲の再生	ボリュームノブを押す
1つ上の階層に戻る	[⏪]を押す
トップメニューに戻る	[⏪]を1秒以上押す

選択した曲を含むリストが再生されます。

♪ こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
→ [⏪]を1秒以上押す。

📖 MEMO

- 曲名が表示されているときは、曲名の最初に「♪」が表示されます。
- 曲名などで表示できない文字は“?”が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

項目	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
作曲者	“COM***”

サーチモードで聴きたい曲を探す

探したい曲に最適な検索方法を、4種類のサーチモードから選択できます。


ミュージックサーチ中

1 [Q]を押す

設定項目	機能
Direct Search	聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.32)
Alphabet Search	選択中のリスト項目から、アルファベット1文字で検索します。(P.32)
Skip Search	iPod内の曲を何曲か飛ばしながら曲を検索します。(P.33)

▶次ページへつづく

通常表示中


1  を1秒以上押す

設定項目	機能
Direct Search	聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.32)
Related Search	再生中の曲に関連する曲を検索します。(P.33)

2 サーチ項目を選択し、ボリュームノブを押す


以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- ・ サーチモードを中止する
→  を1秒以上押す。

ジャンルと文字を選択して曲を探す (ダイレクトサーチ)

聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して曲を検索します。

1  を2回押す2 **Direct Search** を選択し、ボリュームノブを押す

3 検索するリスト項目を選択し、ボリュームノブを押す

項目	表示
プレイリスト	PLAYLISTS
アーティスト	ARTISTS
アルバム	ALBUMS
曲名やファイル名	SONGS
ポッドキャスト	PODCASTS
ジャンル	GENRES
作曲者	COMPOSERS

4 検索する頭文字を選択し、ボリュームノブを押す

MEMO


- ・ 入力できる文字は、A～Z、0～9、* です。
- ・ A～Zまたは0～9以外の文字で始まる項目を検索したいときは「*」を入力します。
- ・ a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後続く文字で探します。

5 **DONE** を選択し、ボリュームノブを押す


検索が開始され、該当する曲のリストが表示されます。ここからは、「リストから曲を探す」(P.31)の手順2を参照して曲を選びます。

文字を入力して曲を探す (アルファベットサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲を検索します。

1  を押す

2 探したい項目を選択し、ボリュームノブを押す

3  を押す4 **Alphabet Search** を選択し、ボリュームノブを押す

5 検索したいアルファベットを選択し、ボリュームノブを押す

検索が開始され、該当するリストが表示されます。曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

MEMO

- ・ iPodの曲数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- ・ a/an/theのような冠詞や記号、スペース



は検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

- A～Zまたは1以外の文字で始まる曲を検索したいときは「*」を入力します。

関連する曲を探す (リレーテッドサーチ)

再生中の曲の情報をもとに、その曲に関連するアーティスト、アルバム、曲を検索します。

- 1 **[Q]** を1秒以上押す
- 2 **[Related Search]** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 検索する項目を選択し、ボリュームノブを押す

表示	機能
Search Artist	現在再生している曲のアーティストのアルバムリストが表示されます。
Search Album	現在再生している曲が含まれるアルバム内の曲リストが表示されます。
Search Genre	現在再生している曲と同じジャンルのアーティストのリストが表示されます。
Search Composer	現在再生している曲と同じ作曲者の曲が含まれるアルバムリストが表示されます。

検索が開始され、該当するリストが表示されます。ここからは、「**リストから曲を探す**」(P.31)の手順2を参照して曲を選びます。

MEMO

- Podcasts再生中は使用できません。

- 関連する曲が見つからない場合、“Not Found” と表示されます。

すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。

- 1 **[Q]** を2回押す
- 2 **[Skip Search]** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 聴きたい曲を探す

以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
曲の切り替え	ボリュームノブを回す
スキップサーチ	ボリュームノブを上下に押す
曲の決定	ボリュームノブを押す
スキップサーチの割合を変える	ボリュームノブを左右に押す

MEMO

- 1秒以上ボリュームノブを上下に押すと、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- スキップの割合は、「**音源ごとに設定を変更しよう**」(P.51)でも設定できます。

- 4 **ボリュームノブを押す**
サーチモードが解除され、決定している曲の再生が始まります。



ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。



MEMO

- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは「**MONO**」(P.51)をご覧ください。
- ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。詳しくは「**ディスプレイの表示タイプを切り替える(ディスプレイコントロール)**」(P.40)をご覧ください。

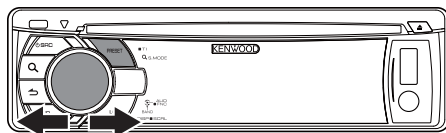
交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

1 **PRESET** を1秒以上押す

交通情報が受信されます。

もう一度 **PRESET** を1秒以上押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。



♪こんなときは…

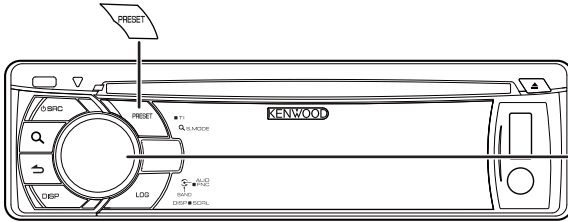
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい→ ボリュームノブを左右に押しして522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

MEMO

- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。



ラジオを聴く



ボリュームノブ

以下のように操作します。

Settingsを選択する

→ボリュームノブを回して項目を選択する。


聴きたい放送局を自動で探す

- 1 ボリュームノブを下に押し、聴きたいバンドを受信する
下に押すたびにFMとAMに切り替わります。
- 2 ボリュームノブを左右に押し、受信状態の良い放送局が自動で受信されます。


♪こんなときは…

- 手動で周波数を合わせたい
→ P.51を参照して“Seek Mode”を“Manual”に設定し、ボリュームノブを左右に押し、周波数を合わせる。

放送局を手動登録する

- 1 お好みの放送局を受信する
- 2  を押す
- 3 プリセット番号 (P1 ~ P12) を選択し、ボリュームノブを2秒以上押す
その番号のボタンに、受信中の放送局が登録されます。

📖 MEMO

- 手順2で  を2回押すとミックスプリセットモードになります。
ミックスプリセットモードにすると、放送局の登録・呼び出しに関してAMとFMの区分けがなくなります。
ミックスプリセットモードに記憶した放送局は、バンドを切り替えることなく希望する放送局を呼び出せます。
ただしミックスプリセットモード中に登録できる放送局は6局までになります。




放送局を自動登録する (オートメモリー)

- 1 ボリュームノブを下に押し、聴きたいバンドを受信する
- 2 ボリュームノブを1秒以上押す
- 3 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Auto Memory** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 **YES** を選択し、ボリュームノブを押す
受信状態の良い放送局が、自動的に最大で12局登録されます。

MEMO

- バンドごとに、12局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

登録した放送局を呼び出す

- 1 ボリュームノブを下に押し、聴きたいバンドを受信する
- 2  を押す
- 3 聴きたい放送局の登録されているプリセット番号を選択し、ボリュームノブを押す
その番号に登録されている放送局が受信されます。

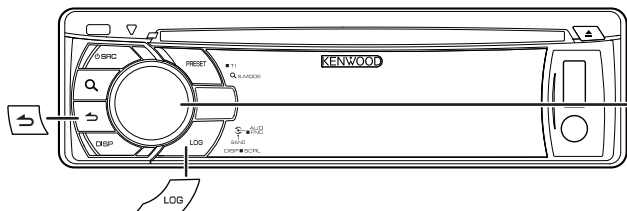
♪ こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
→ **P.51**を参照して“Seek Mode”を“Auto2”に設定すると、ボリュームノブを左右に押しごとに順に受信します。
(ミックスプリセットモード(**P.35**)
中もAM、FM別に受信します)



以前に使った項目をワンタッチで呼び出す (Log Function)

Log Function項目を利用する




ボリュームノブ

以下のように操作します。

Settings を選択する
→ボリュームノブを回して項目を選択する。

登録された項目を呼び出す


以前に使用した項目は自動的にLog Functionに登録されます。

1  を押す
Log Functionリストが表示されます。

2 呼び出したい項目を選択し、ボリュームノブを押す
項目のカテゴリーが項目名の前に表示されます。

表示	カテゴリー
FM	FM放送
AM	AM放送
iPod	iPodの曲
USB	USBの曲
SD	SDの曲 (U575SDのみ)
CD	オーディオファイルの曲
PLAY	PLAY MODEの項目
INIT	イニシャル設定の項目
SET	設定項目
DISP	表示設定の項目
AUD	オーディオ設定の項目

♪ こんなときは…

- Log Function呼び出しを中止する
→  を押す。




📖 MEMO

- 項目は最近使用した15件がメモリーされます。16件以降は古いメモリーから順に削除されます。
- メモリーされた項目が削除されないようにするには「Log Function項目をロックする」(P.38)を参照してください。
- メモリーされた項目の削除は「Log Function項目を削除する」(P.38)を参照してください。
- Logするカテゴリーの設定は「Log Functionカテゴリーを設定する」(P.39)を参照してください。
- 放送局は1分間受信後にメモリーされません。メモリーされるタイミングの変更は「チューナーLog時間の変更」(P.39)を参照してください。
- iPodやUSB、挿入されているCDの収録曲を変更した場合、変更される前に登録させていたLog Function項目で曲を呼び出しても正常に再生されない場合があります。
- 選択中の音源と異なる音源のLog Function項目は呼び出せない場合があります。

以前に使った項目をワンタッチで呼び出す (Log Function)

Log Function項目をロックする

登録されたLog Function項目が消えないようにロックします。


- 1  を押す
Log Functionリストが表示されます。
- 2 ロックする項目を選択し、ボリュームノブを1秒以上押す
ロックされた項目には  表示がされます。
もう一度同じ操作をすると、ロックが解除します。
- 3  を押して終了する

Log Function項目を削除する

登録されたLog Function項目を削除します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Log Delete** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 削除したい項目を選択し、ボリュームノブを押す

MEMO

- ・リストで **All** を選択すると、ロックされていない項目をすべて削除します。
- 6 **YES** を選択し、ボリュームノブを押す
“Completed” と表示され、選択した項目が削除されます。
 - 7  を1秒以上押して終了する

Log Functionカテゴリを設定する

Log Functionを自動的に登録するカテゴリを設定します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Log Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 登録したいカテゴリを選択し、ボリュームノブを押す
項目のカテゴリが項目名の前に表示されます。

表示	カテゴリ
Tuner Log	ラジオ放送関連
Data CD Log	CDオーディオファイル関連
iPod Log	iPod関連
USB Log	USB関連
SD Log	SD関連 (U575SDのみ)
Function Log	設定項目関連

- 6 **☑** を1秒以上押して終了する

チューナー Log時間の変更

放送局をLogさせるタイミングを、受信時間で設定します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Log** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Tuner Log Time Set** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 登録させたい受信時間を選択し、ボリュームノブを押す

表示	設定時間
10SEC	10秒
30SEC	30秒
1MIN	1分
2MIN	2分
5MIN	5分

- 6 **☑** を1秒以上押して終了する

本機の設定をする


ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示タイプを切り替える（ディスプレイコントロール）

各音源再生中やスタンバイ時の画面表示タイプを切り替えます。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **DISP& ILLUMI** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Display Select** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 **Type Select** を選択し、ボリュームノブを押す
- 6 表示タイプを選択し、ボリュームノブを押す
表示タイプについては以下をご覧ください。

表示タイプ	表示内容
テキスト表示モード	ラジオの周波数、CDやオーディオの再生時間、iPodのタイトル／アーティスト名などの情報を表示します。
時計表示モード	時計を表示します。
モーショングラフィックス表示モード	モーショングラフィックスを表示します。
表示OFFモード	ディスプレイの表示を消します。

- 7  を1秒以上押して終了する



グラフィック表示を切り替える (Display Select)

ディスプレイのサイド表示などのグラフィック表示を切り替えます。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **DISP& ILLUMI** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Display Select** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す

表示	設定内容
Side Select	テキスト表示モード、モーショングラフィックス表示モード時のサイド表示を切り替えます。
Graphic Select	時計表示モード時の時計表示数を切り替えます。
Status	各音源の状態をインジケータで表示します。

- 6 設定値を選択し、ボリュームノブを押す
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

設定項目	表示モード	設定
Side Select	テキスト表示モード	タイトル表示 、音源アイコン表示、なし
	モーショングラフィックス表示モード	音源アイコン表示、 なし
Graphic Select	時計表示モード	Home時刻表示 、Home & Sub時刻表示
Status	表示OFFモード以外	ステータス表示、 なし

- 7 **⏪** を1秒以上押して終了する

項目の表示を切り替える (Text Select)

ディスプレイに表示されるテキスト（アーティスト名や曲名、時計表示など）の項目を切り替えます。

MEMO

- この操作は、ディスプレイの表示タイプが「テキスト表示モード」の場合のみ設定できます。

- ボリュームノブを1秒以上押す
- Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- DISP& ILLUMI** を選択し、ボリュームノブを押す
- Display Select** を選択し、ボリュームノブを押す
- Text Select** を選択し、ボリュームノブを押す

ディスプレイコントロール画面の表示方法は、「ディスプレイの表示タイプを切り替える（ディスプレイコントロール）」(P.40) をご覧ください。

- ボリュームノブを上下に押し、設定する表示行を選択し、ボリュームノブを押す
- 表示するテキストを選択し、ボリュームノブを押す
内容は以下の表をご覧ください。

ラジオ

表示	項目
Frequency	周波数
Clock	時計
Date	日付

CD

表示	項目
Disc Title	ディスク名
Track Title	トラック名
P-Time	再生時間
Clock	時計
Date	日付

オーディオファイル／iPod

表示	項目
Title/Artist	タイトル／アーティスト名
Album/Artist	アルバム／アーティスト名
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名
P-Time	再生時間
Clock	時計
Date	日付

外部機器

表示	項目
Source Name	音源名
Clock	時計
Date	日付

STANDBY



表示	項目
Source Name	音源名
Clock	時計
Date	日付



MEMO

- 何も表示させない場合、“Blank” を選択します。
- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

  を1秒以上押して終了する

ディスプレイの詳細を設定する

ディスプレイの表示に関する設定を行います。

1 ボリュームノブを1秒以上押す


2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す

3 **DISP & ILLUMI** を選択し、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Display Dimmer	ディスプレイの減光の方法を設定します。 Auto：車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1：常時減光します。 Manual2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	Auto /Manual1/ Manual2/OFF
Contrast	ディスプレイのコントラストを設定します。	1 ~ 10 ~ 30
DISP NEGA/ POSI	ディスプレイの表示タイプをネガとポジとに切り替えます。 POSI 1：文字をポジタイプで表示します。 POSI 2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をポジタイプで表示し、オンになるとネガタイプで表示します。 NEGA 1：文字をネガタイプで表示します。 NEGA 2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンになるとポジタイプで表示します。	POSI 1/POSI 2/ NEGA 1 /NEGA 2
Text Scroll	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 Auto：スクロールを繰り返します。 Once：スクロールを1回行います。 OFF：スクロールしません。	Auto /Once/OFF
ILLUMI Dimmer	キーのイルミネーションの輝度を下げます。 Auto：車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1：常時減光します。 Manual2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	Auto /Manual1/ Manual2/OFF
ILLUMI Effect	本機の操作に連動してキーのイルミネーションを変える演出効果を設定します。 OFF：演出効果がありません。 ON：本機を操作することに変化します。	ON /OFF



- 4 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 設定値を選択し、ボリュームノブを押す
- 6  を1秒以上押して終了する

イルミネーション色を設定する (U575SDのみ)

操作パネルのイルミネーション色を選択します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **DISP& ILLUMI** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Color Select** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 設定する場所を選択し、ボリュームノブを押す

表示	設定場所
Color SEL All	すべての場所を同じ色に設定します。
Color SEL Display	ディスプレイの色を設定します。
Color SEL Key	ボタンの色を設定します。
Color SEL USB&AUX	USB端子とAUX端子の色を設定します。

- 6 色を選択し、ボリュームノブを押す
 “Color1” ～ “Color24”、“User” または “Variable Scan”（次々に色が変わります）から選択します。
- 7 **☑** を1秒以上押して終了する

RGB値を調整する

イルミネーション色のRGB色を調整してオリジナル色を作成します。

- 1 「イルミネーション色を設定する (U575SDのみ)」(P.46) の手順 1～6を参照して “Color1” ～ “Color24” または “User” に設定します。
- 2 ボリュームノブを1秒以上押す
- 3 色を調整する

以下の操作で色を設定します。

動作	操作
調整する色（赤、緑、青）を選択する	ボリュームノブを左右に押す
色を調整する（0～9）	ボリュームノブを回す

- 4 ボリュームノブを押して終了する

調整した色はイルミネーション色の設定時に “User” を選択すると呼び出せます。

日付と時計表示を設定しよう

日付を調整する

日付を調整します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock&Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Date Adjust** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 年を調整し、ボリュームノブを押す
- 6 月を調整し、ボリュームノブを押す
- 7 日を調整し、ボリュームノブを押す
- 8 **☑** を1秒以上押して終了する

時計を表示する2か所の都市を設定する

時計表示モードをHOME & SUBタイプにしているときに2か所の場所を設定します。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock&Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **City Select** を選択し、ボリュームノブを押す

5 時計を表示させる都市を設定する

動作	操作
設定する時計表示部 (Home/Sub) を選択する	ボリュームノブを上下に押す
都市を選択する	ボリュームノブを回す

6 **☑** を1秒以上押して終了する

MEMO

- ・ 2か所の時計を表示させる設定については、「**グラフィック表示を切り替える (Display Select)**」(P.41)を参照してください。
- ・ 上 (Home) に表示されている時計の調整は、「**時計を調整しよう**」(P.8)で設定した時刻が表示されます。下 (Sub) に表示される時計の時刻は、設定した都市から自動的に計算されます。

Sub時計の調整

Subのサマータイムの実施制度がHomeと異なる場合の時計調整をします。

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
- 2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
- 3 **Clock&Date** を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 **Sub Clock Adjust** を選択し、ボリュームノブを押す
- 5 Home都市との時差(-1h,0,+1h)を選択し、ボリュームノブを押す
- 6 **☑** を1秒以上押して終了する

好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)

音響効果などを設定します。

- 1** いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオコントロール画面が表示されます。
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値	
SubWoofer Level ^{*1}		サブウーファースの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15 (dB)	
Bass Level		低音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Middle Level		中音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Treble Level		高音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Equalizer PRO	Bass Adjust	Bass Center FRQ	調整する低音域の中心周波数を設定します。	60/80/ 100 /200 (Hz)
		Bass Level	低音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
		Bass Q Factor	低音クオリティファクターを設定します。	1.00 /1.25/ 1.50/2.00
		Bass EXT	低音中心周波数の伸張設定のON/OFFを設定します。	OFF /ON
	Middle Adjust	Middle Center FRQ	調整する中音域の中心周波数を設定します。	0.5/ 1.0 /1.5/2.5 (kHz)
		Middle Level	中音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
		Middle Q Factor	中音クオリティファクターを設定します。	0.75/ 1.00 /1.25
	Treble Adjust	Treble Center FRQ	調整する高音域の中心周波数を設定します。	10.0/ 12.5 / 15.0/17.5 (kHz)
		Treble Level	高音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)
	dB Equalizer		ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	User ^{*2} /Rock/Vocal/ Easy/Dance/Jazz/ Powerful/Natural
Bass Boost		低音を増強します。	OFF /Level1/Level2/ Level3	
Loudness		低音域と高音域を増強します。	Level1 /Level2/OFF	
Balance		左右の音量バランスを調整します。	Left 15 ~ 0 ~ Right 15	
Fader		前後の音量バランスを調整します。	Rear 15 ~ 0 ~ Front 15	




表示		設定内容	設定値
SubWoofer		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	OFF/ON
Detailed Settings	HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Through/100/120/150 (Hz)
	LPF SubWoofer* ¹	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	85/120/160/Through (Hz)
	Subwoofer Phase* ³	サブウーファーの位相を設定します。	Reverse (180°) / Normal (0°)
	Supreme* ⁴	Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	NAV Guide	カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。	OFF/ATT
Audio Preset* ⁵	オーディオ設定の登録・呼び出しをします。 <登録方法> ① 登録したいオーディオコントロールを設定します。 ② [Audio Preset] の [Memory] を選択し、ボリュームノブを押します。 ③ [YES] を選択し、ボリュームノブを押します。 ④ “Memory Completed” と表示されたことを確認します。 <呼び出し方法> ① 設定を呼び出したい音源に切り替えます。 ② [Audio Preset] の [Recall] を選択し、ボリュームノブを押します。 ③ [YES] を選択し、ボリュームノブを押します。 ④ “Recall Completed” と表示されたことを確認します。	Recall/Memory	
Volume Offset	音源ごとの音量の差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (dB) (AUX: -8 ~ 0 ~ +8)	

- ※1 “SubWoofer” をONに設定しているときに表示されます。
- ※2 “User” 設定は、“Bass Level”、“Middle Level”、“Treble Level” の調整した値です。
- ※3 “LPF” を “Through” に設定しているときは表示されません。
- ※4 オーディオファイル再生中に表示されます。
- ※5 ・登録できる設定項目は以下のとおりです。
Bass Center FRQ/ Bass Level/ Bass Q Factor/ Bass EXT/ Middle Center FRQ/ Middle Level/ Middle Q Factor/ Treble Center FRQ/ Treble Level/ SubWoofer Level/ HPF/ LPF SubWoofer/ SubWoofer Phase
・登録できるオーディオコントロール設定は1組です。音源別の登録はできません。
・リセットボタン (P.55) を押すと、登録した値がオーディオコントロールの初期設定値になります。

2 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す

3 設定値を選択し、ボリュームノブを押す

4  を1秒以上押しして終了する

MEMO

- ・イコライザーカーブ、低音、中音、高音は、音源ごとに設定できます。
- ・イコライザーカーブ設定中は、ボリュームノブを左右に押し、効果のHIGH/LOWを切り替えることができます。ただし、“Natural”、“User” に設定しているときは調整できません。
- ・Supreme (サブプリム) 機能とは、低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット (AAC、MP3およびWMA) 別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。
- ・本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。
なお、「NAV Guide」機能はケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。



音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。

1 設定を変更する音源を再生中に、ボリュームノブを1秒押す


2 **Settings** を選択し、ボリュームノブを押す
 各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	Seek Mode	放送局の探しかたを設定します。 Auto1：放送局を自動的に受信します。 Auto2：登録されている放送局を順番に受信します。 Manual：1ステップずつ周波数が変わります。	Auto1 /Auto2/ Manual
	Auto Memory	受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(P.36)	—
	MONO* (FMラジオ受信時のみ)	FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときにONにすると、雑音が軽減されて聴きやすくなる場合があります。	ON/OFF
iPod	Skip Search	曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.33)	0.5% /1%/5%/10%
AUX	AUX Name Set	音源をAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	AUX /DVD/PORTABLE/ GAME/VIDEO/TV
USB	Skip Search	Music Editorでデータを付加している場合に、曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.27)	0.5% /1%/5%/10%
すべての音源	Clock & Date	本機の時計と日付を合わせます。(P.8) (P.47)	—
	DISP & ILLUMI	ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。(P.40)	—
	Log	Log関係の設定をします。	—
	Log Delete	Logを削除します。(P.38)	—
	Log Settings	Logのカテゴリーを設定します。(P.39)	—
	Tuner Log Time Set	放送局をLogする時間を設定します。(P.39)	10SEC、30SEC、 1MIN 、2MIN、5MIN

* ONに設定すると、電力線などの強い電場により音質が落ちることがあります。

本機の設定をする

▶次ページへつづく



- 3 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す
- 4 設定値を選択し、ボリュームノブを押す
- 5  を1秒以上押しして終了する

初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。

- 1 音源をSTANDBYに設定する
- 2 ボリュームノブを1秒以上押す
- 3 **Initial Settings** を選択し、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。


表示	設定内容	設定値
SRC Select	 を押したときの音源選択方法を切り替えます。 1 :  を押すごとに音源の表示が切り替わります。 2 : ボリュームノブを回して音源を選択します。	1/2
Key Beep	操作時のビーブ音を設定します。	ON/OFF
カンジ ユウセン	CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。 ON : 漢字で表示 (漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示) OFF : カタカナまたは英/数文字で表示	ON/OFF
Built-in AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON : AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。 OFF : 内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF



表示	設定内容	設定値
CD Read	<p>CDの読み込み方法を設定します。</p> <p>特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。</p> <p>1：通常はこちらでご使用ください。</p> <p>2：音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。</p>	1/2
F/W Update	<p>以下の手順でファームウェアをアップデートします。</p> <p>アップデートに関する情報は、www2.jvckenwood.com/faq/をご覧ください。</p>	—

4 設定項目を選択し、ボリュームノブを押す

5 設定値を選択し、ボリュームノブを押す

6  を1秒以上押して終了する

本機を盗難から守るために

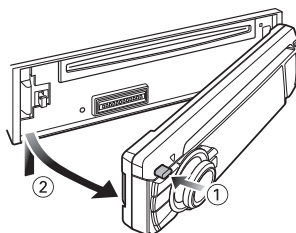
本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。

お車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯していただくことをおすすめします。

操作パネルを取り外す

1 リリースボタンを押す

電源がオフになり、パネルのロックが解除され、パネルが取り外せます。



MEMO

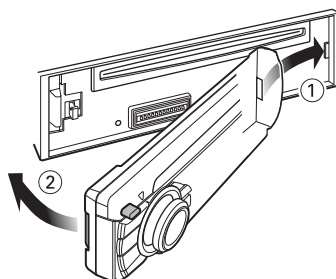
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所

操作パネルを取り付ける

1 パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせる

2 パネルの左側を本体に合わせて押し

パネルがロックされ、本機が使用できるようになります。



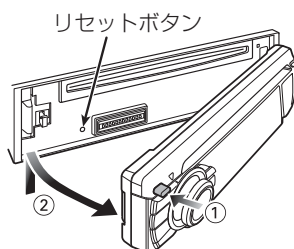
困ったときに

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.55)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネルを取り外す」(P.54)を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	リセットボタン(P.55)を押してください。
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
FMIは受信するが、AMが受信できない。	アンテナコントロール電源が接続されていない。	「配線をしましょう」(P.60)を参照して、正しく接続し直してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
CDやオーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

困ったときに

こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC Error :	ディスクが異常に汚れています。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
Read Error :	接続しているUSB機器またはSDカードのファイルシステムが破損しています。	USB機器/SDカードのファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器/SDカードをフォーマットするか、他のUSB機器/SDカードを使用してください。
NA File :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしてしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
Copy PRO :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
IN (点滅)	CDプレーヤーが正常に動作していません。	CDを一度取り出してから、再度挿入してください。それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.55) を押してください。 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Reading :	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
Protect (点滅):	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機のリセットボタン (P.55) を押してください。 それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Hold Error :	内部温度が60℃以上になったため、保護回路が動き、動作しなくなっています。	本機の取り付け場所の温度を下げてください。

メッセージ	原因	処置
No Device :	USB機器/SDカード/iPodが接続されていないときに、音源をUSB/SD/iPodに切り替えました。	USB機器/SDカード/iPodを接続し、再度音源をUSB/SD/iPodにしてください。
N/A Device :	サポートされていないUSB機器/SDカード/iPodを接続しました。	USB機器/SDカード/iPodを取り外してください。 サポートされているUSB機器/SDカード/iPodについては、「 本機で使えるメディアとオーディオファイル 」(P.22)、「 iPodについて 」(P.28)を参照してください。
No Music Data :	接続されているUSB機器/SDカード/iPodには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器/SDカード/iPodを接続してください。
iPod Error :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	「 iPodについて 」(P.28)を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。 iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。 iPodのリセット(設定メニュー内の「リセット」とは異なります)を行ってください。 iPodのリセット方法についてはアップル社のウェブサイトを参照してください
LOG: No Memory :	Log Functionが登録されていません。	機能が登録されてから呼び出してください。
No Access :	Log Functionに登録された操作ができません。(iPodを取り外しているときにiPodの曲を呼び出したときなど)	iPodを接続してから機能呼び出してください。

本機を取り付けるときは

必ずお読みください

警告



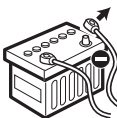
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖ アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

警告



実施

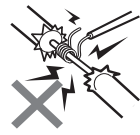
- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



禁止

- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

- バッテリーの ⊖ 端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

本機を取り付けるときは

配線をしましょう

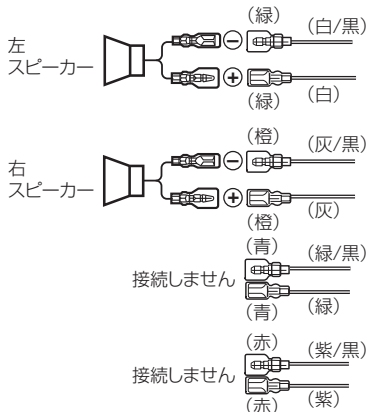


実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

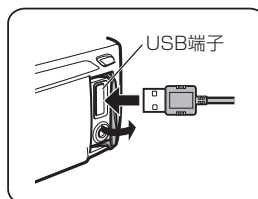
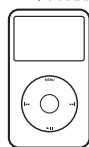
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン (P.55) を押します。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

iPod (市販品)

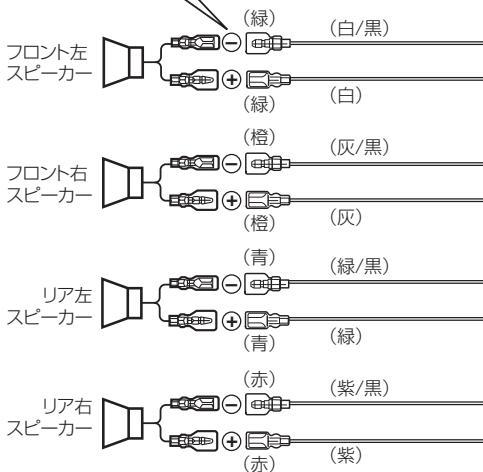
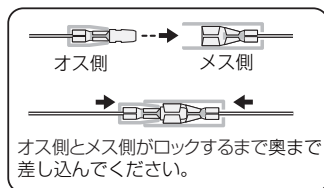


KCA-iP102 (別売品)

USB機器 (市販品) USBケーブル (別売品)

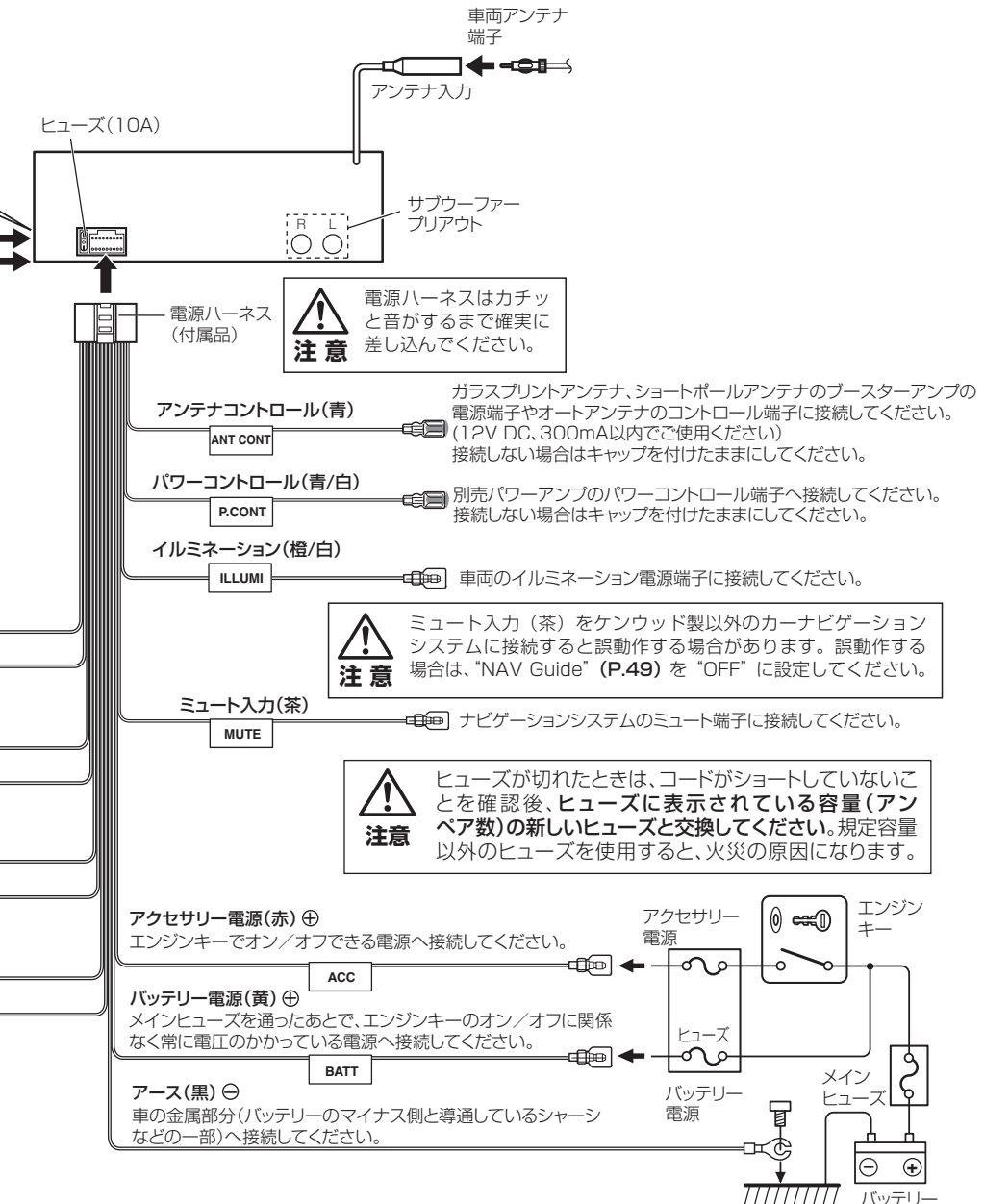


※使用するUSBケーブルには、CA-U1EX (別売品：最大電流500mA)をお薦めします。



注意 ・スピーカーコードの⊕ ⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
・複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

本機を取り付けるときは



本機を取り付けるときは

取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本です。

MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。



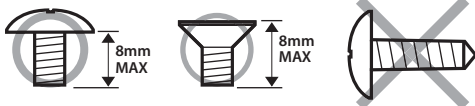
注意

● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。


なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



本機に付属しているネジ

 トラスネジ (M5×6 mm) × 4

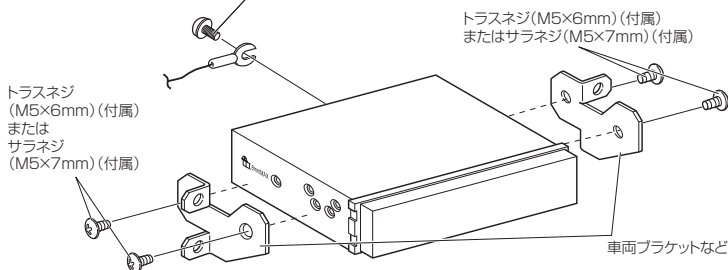
 サラネジ (M5×7 mm) × 4

 セムスネジ (M4×8 mm) × 1

セムスネジ

(M4×8mm) (付属)

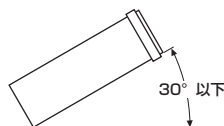
※別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



注意

- 本機の実取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N : 26 dB) :
11.2 dBf (1 μ V/75 Ω)
クワイティング感度 (S/N : 46 dB) :
19.2 dBf (2.5 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 : 63 dB (MONO)
ステレオセパレーション : 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N : 20 dB) : 31 dB μ (36 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード : GaAlAs
デジタルフィルター (D/A) :
8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター : 24 Bit
回転数 : 500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ& フラッター : 測定限界以下
周波数特性 : 10 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪み率 : 0.008 % (1 kHz)
S/N比 : 110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ : 93 dB
MP3デコード :
MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード :
Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC “.m4a” ファイル

USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)
ファイルシステム : FAT16/32
最大供給電流 : DC5V 1A
MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

SD部 (U575SDのみ)

物理フォーマット : Version 2.00
ファイルシステム : FAT16/32
最大メモリー容量 : 32GB
MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4
定格出力 : 30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω
プリアウトレベル (CD) :
2500 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下
オーディオコントロール :
Bass 100 Hz \pm 8 dB
Middle 1 kHz \pm 8 dB
Treble 12.5 kHz \pm 8 dB

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (\pm 3 dB)
入力最大電圧 : 1200 mV
入力インピーダンス : 10 k Ω

電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流 : 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D) :
178 \times 50 \times 160 mm
質量 (重さ) : 1.3 kg

付属部品

電源ハーネス : 1本
トラスネジ (M5 \times 6 mm) : 4本
サラネジ (M5 \times 7 mm) : 4本
セムスネジ (M4 \times 8 mm) : 1本

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.55)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

● 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎ 004-0005 札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003
東北		
仙台サービスセンター	☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151
関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎ 331-0812 さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎ 277-0863 柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7175-4322
横浜サービスセンター	☎ 226-0006 横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
東東京サービスセンター	☎ 135-0023 東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル1F (修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。	☎ 0120-2727-87
八王子サービスセンター	☎ 192-0032 東京都八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎ 950-0913 新潟市中央区鏡1-5-23	☎ (025) 245-2177
中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎ 481-0041 北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 921-8062 金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-4821
近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎ 532-0027 大阪市淀川区田川12-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎ 761-8057 高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055
中国		
広島サービスセンター	☎ 730-0825 広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023
九州		
福岡サービスセンター	☎ 812-0031 福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 891-0114 鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎ 901-2224 宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内
受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

用語集

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.22)をご覧ください。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.22)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.22)をご覧ください。

商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My Kenwood）をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>